

# 全国専修学校一般課程各種学校協会 令和6年度第26回定例総会・研修会を開催

6月11日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国専修学校一般課程各種学校協会令和6年度第26回定例総会を開催（オンライン併用）して開催した。出席者は66名（委任状を含む）。

細野美貴会長が開会あいさつを述べた後、議長選任では会則なしに第2回理事会において承認された細野会長が議長に就任した。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に富山県の瀬尾和子理事と福岡県の古川晃理事が選出され、議事に入った。

## 【第1号議案 令和5年度事業報告】

## 【第2号議案 令和5年度決算報告ならびに監査報告】

第1号議案、第2号議案は一括審議を行った。第1号議案では、配布資料に基づき、事務局が定例総会、理事会、生涯学習カレッジ認定講座事業における認定講座申請状況、同運営要項の作成・送付に関する法律による金融機関窓口での本人確認書類の提示等に取り扱いにかかる格差是正について、文部科学省専修学校教育振興室と情報共有を行うとともに、2月9日には自由民主党行政改革推進本部「規制改革等に関するPT」において、「地方活性化に資する専門学校の人材育成機能強化の必要性について」と題する要望書全専各連名で提出したことを報告した。

第2号議案では、配布資料に基づき事務局から収支計算書の科目内容等について説明を行った。続いて坂本繁夫監事から本協会の令和5年度における財務諸表及び収支計算書並びに理事の執行状況について全て適正であるとの監査報告を行った。その他質疑はなく、両議案に関して出席者全員異議なく拍手承認した。

## 【第3号議案 令和6年度事業計画案】

## 【第4号議案 令和6年度収支予算案】

第3号議案、第4号議案は一括審議を行った。第3号議案は配布資料に基づき、事務局が運動方針、会議の開催、委員会活動、生涯学習カレッジ講座認定事業、広報活動の推進を説明。金融機関の窓口での本人確認書類の提示等の取り扱いにかかる格差是正について、専修学校一般課程及び各種学校も専門課程・高等課程と同様に金融機関窓口での簡素な顧客管理を行うことが許容される取引に追加され、取引時確認義務等の対象取引から除外されるよう、文部科学省専修学校教育振興室と情報共有を行い、全国地銀協会等関係団体とも連携して運動していくことについて確認された。

第4号議案では、配布資料に基づき事務局から各事業実施に向けて経費節減を軸に昨今の経済状況、物価高騰を念頭に積算した

